

# 結い YUI

「結い」とは、田植などの時の助け合いのことを言います。土くさく温かい言葉です。

発行者 山梨県人権擁護委員連合会  
事務局 〒400-8520  
甲府市丸の内一―一―一八  
甲府地方方法務局内  
電話 (055)252-7239

## 電子化準備へ第一歩

### 少人数PC講座 着々と

山梨県人権擁護委員連合会のパソコン講座は、着々と進んでいます。昨年12月の開講以来、2月末現在の受講者数は、35人。委員の皆さんが和気あいあい。パソコン、インターネットの「いろは」を勉強しています。初心者講座ですから、少



人数での勉強をモットーとしています。マンツーマンとは行かないまでも懇切丁寧な講座「写真」です。奮ってご参加ください。

### インターネット回線

講座の開設の一方で、県連はパソコンを購入、独自のインターネット回線を設けました。一部では双方方向での通信が始まっています。

事務処理や通信の電子化は最速、避けて通ることの出来ない時代の要請です。事務の迅速化や省力化はむろん、経費の削減を図る工夫もしなければなりません。社会構造が多様化するに際して、人権擁護委員の役割、それに伴う事務量も増大していきます。

メールアドレスは [jinkenyanashi@vega.ocn.ne.jp](mailto:jinkenyanashi@vega.ocn.ne.jp)

### NTTの全面協力

パソコン講座は一昨年12月、全委員218人を対象にした「意識調査」を踏まえたもので、NTTの全面協力で実現しました。甲府市蓬沢町の研修センターを拠点に開いています。受講者は、いつも10人未満、3人、5人の時もあります。2人のNTT技術職員が指導に当たってくれます。パソコンの立ち上げから、諸々の操作の仕方やコツを分かり易く教えます。初心者でするので、分からなくて当然。みんな「どうするの?」どうするの?」の繰り返しで勉強しています。それぞれのパソコンに向かう委員さんたちの顔は純真そのものです。

### 出前講座も

事務局は出前講座も考えています。特に都留、峡南両協議会のように、遠隔地の場合です。NTTの協力体制に基づくことは言うまでもありません。パソコン機器を持ち込

んでの出前講座です。インターネットの接続が可能な市町の公共施設の利用がいいでしょう。協議会で話し合ってから事務局に申し込んでください。NTT研修施設での拠点講座、出前講座を問わず、協議会やグループ単位での開設も可能です。少人数制、しかも無料講座ですので、このチャンスを逃す手はありません。

### メール通信へ

パソコン操作を覚えると、例えば、委員の皆さんに毎月義務づけられている「職務執行結果報告書」の提出も郵送ではなく、自宅のパソコンからメール送信が可能になります。同報告書は実弁手当の基礎書類となるものです。日常の私的な通信ツールとして威力を発揮したり、インターネットへの「入り口」となることは言うまでもありません。

### 全連の事務局長会議開催

全国人権擁護委員連合会主催の全国都道府県事務局長会議が二月二十一日、法務省で開かれました。同会議は初めて。全国の事務局長が一堂に会して事務局の現状や問題点を話し合いました。「自主運営とは何か」や煩雑化する事務局の合理化、省力化の手段として事務連絡や通信の電子化についても活発に議論されました。

### アナログ世代

山梨県連の委員さんの平均年齢は67歳。一般的には「アナログ世代」と言われます。県連が実施した「パソコンに関する意識調査」によれば、「パソコンを操作できない」と回答した人は全体の41%。その数が



# 新年度へ準備急ピッチ

## 各種事業成功裏に終了

甲府・平和通りでの人権パレードや富士山啓発など各種の啓発事業、山梨県下の全中学校を対象にした人権作文コンテストなど、大型事業が済んで、山梨県人権擁護委員連合会は、新年度へ向けての準備に入っています。

協議会やグループでは、新年度の役割分担や県連への派遣委員を詰める一方、「人権の花」贈呈校の選定も急いで

### 委員から一言

#### 啓発活動の一層の充実を

氏原 宏幸

以前、NHK総合テレビで見た中学生日記「最終回のSP命」の放映が今でも印象にあり、思い出される。長年続いたドラマの最終回。「命」をテーマにした内容とあって、特に関心をもって注視した。

しかし、残念に思ったのは、主人公が自殺まで考えるほど深刻な状況にありながら、外部に発することもなく、学級担任、家族、友達だけで解決

います。

五つの専門委員会(子ども人権、男女共同参画、総務、研修、救済)は、それぞれ今年度を総決算。特に総務委員会(河口喜久雄委員長)は、三月二十二日の理事会を前に新年度の定時総会に向けた議案の提言などを協議します。

総会は五月十七日、ベルクラシック甲府で開かれます。

啓発事業のメインである「人権パレード」は、昨年十二月九日、例年のように甲府・平和通りを舞台に行いま

していこうと苦闘している姿であった。人権擁護機関などへの相談で解決の糸口を見い出そうとする製作者の意図がまったく感じられなかったことに落胆したこと。我々グループによる「人権教室」「人権の花の贈呈」などの啓発活動においては、委員全員が参加して演出の工夫も考えた活動を実施しているが、昨今起きている事例の防止策として、も人権擁護委員の存在をもっと明らかにする意味と必要性においても、今後一層のPR活動の強化が必要であると考えている。(北杜市)

した。今回の一日人権擁護委員にはテレビでお馴染みの人気キヤラクター「サクライザー」。城北幼稚園の園児が奏でる鼓笛演奏を先頭に約百人の委員が行進、人権の大切さをアピールしました。

中学生人権作文コンテストは、県下91校から応募された約3700点の中から選ばれた優秀作品を十二月八日の表彰式で顕彰し写真。



作品集を発行、全中学校にお届けする一方、委員の皆さんにも冊子を配布して、素晴らしい作品をお読みいただきました。

### 新任・退任の委員

(敬称略)

#### 新任

- ▽沼田光義(山梨)、小田切寛(南アルプス)、松村正広、中野良男(中央)、島田三貴子、河西厚(市川三郷)、堀内加代子(富士吉田)、安富照子、餌取一成(都留)、大森正生(忍野) 〓 二十四年四月一日付
- ▽小笠原浩、雨宮徳(山梨)、加藤明子(北杜)、有泉利夫(富士川)、佐藤満(上野原) 〓 同七月一日付
- ▽志村治夫、佐野今朝男(昭和)、渡邊力、深澤正史(身延)、萱沼昇、滝口倉一(富士吉田)、澤田正光(大月) 〓 同十月一日付
- ▽土橋利男、古屋礼子(甲府)、加藤壽一(笛吹)、岡誠一、三枝貴久子(甲州)、花形清二(昭和)、小泉千寿子(韮崎)、遠藤均、新藤恵、小川昭二、赤岡恵美子(北杜)、大森きよ子(富士川)、四條巧(南部)、有泉妙子(市川三郷)、日向啓子(身延)、宮澤靖、小俣みち子(都留)、古屋勇、櫻井久榮、阿部源太郎(富士河口湖)、高橋史子(上野原)、清水善朗(丹波山) 〓 二十五年一月一日付

#### 退任

- ▽奥山えみ子(山梨市)、小田切榮善(南アルプス)、藤巻英樹、佐野順一郎(中央)、小川益美、阿部守将(市川三郷)、堀内きぬよ(富士吉田)、石井篤子、志村和彦(都留)、渡邊太一(忍野) 〓 二十四年四月一日付
- ▽岩下秀夫、古明地美登里(山梨)、進藤香(北杜)、土橋伸介(富士川)、佐藤正夫(上野原) 〓 同七月一日付
- ▽加々美為雄、河西忠則(昭和)、小林五百子、高野雅史(身延)、渡邊治信、滝口哲夫(富士吉田)、大澤勇造(大月) 〓 同十月一日付
- ▽田中修、佐野よ志み(甲府)、角田暁子(笛吹)、檀原明徳、磯谷あや子(甲州)、清水博久(昭和)、浅川末子(韮崎)、宮川重昭、三井文香、小池満雄、赤岡てるみ(北杜)、小池ひろみ(富士川)、木内由美子(南部)、大野雅子(市川三郷)、赤池美樹子(身延)、山本正子、小林一夫(都留)、森智洪、梶原久和枝、菅原幸光(富士河口湖)、奈良國雄(上野原) 〓 二十五年一月一日付

#### 編集後記

今年度も残り少なくなりました。今年度もよろしくお願致します。